

科目名		地形測量			
担当教員		細海 幹人		実務授業の有無	有
対象学科		測量建設科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		地形測量は、地形・地物の位置や形状を目的に応じて測量し、決められた縮尺と図式を用いて地形図を作成する測量である。授業では地形測量の順序・方法・具体的な計算について学ぶこととする。特にT Sを用いた細部測量の計算については、数値を変えながら、繰り返し計算練習を行う。			
学習目標 (到達目標)		地形測量の基本的な測量方法を修得する。T Sを用いた細部測量のデータから任意の点の座標値を簡単に求められるようになる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	地形測量（現地測量）の概要			地形測量の全般的な事柄・手順について理解する。	
2	細部測量			放射法をはじめ複数の測量方法を学ぶとともに、T SやG N S等、細部測量に用いられる器械とその使い方についても確認を行う。	
3	T Sを用いた細部測量の計算			1年次の基準点測量で学んだ基本知識を使い、計算を行う。この項目については、繰り返し計算を行い、しっかりと計算方法を身に付けることとする。	
4	座標値による面積計算			座標値から土地の面積を出す計算方法を学ぶ。	
5	等高線の種類			等高線の種類と各線種の意味を理解する。	
6	等高線の測定方法と計算			直接法・間接法の違いとその特徴を理解し、簡単な計算や作図を行う。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末・評価テスト	70 %	普通段の取組姿勢 (課題提出)	30 %	%	%
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				地形測量の科目で学ぶ内容は測量業務に限らず、建設工事の施工管理においても活用できる内容である。そのため、しっかりと身に付けるようにしましょう。また、この授業で測量士補試験の地形測量分野の学習も行う。	
実務経験教員の経歴		建設会社において測量を含む施工管理実務15年			